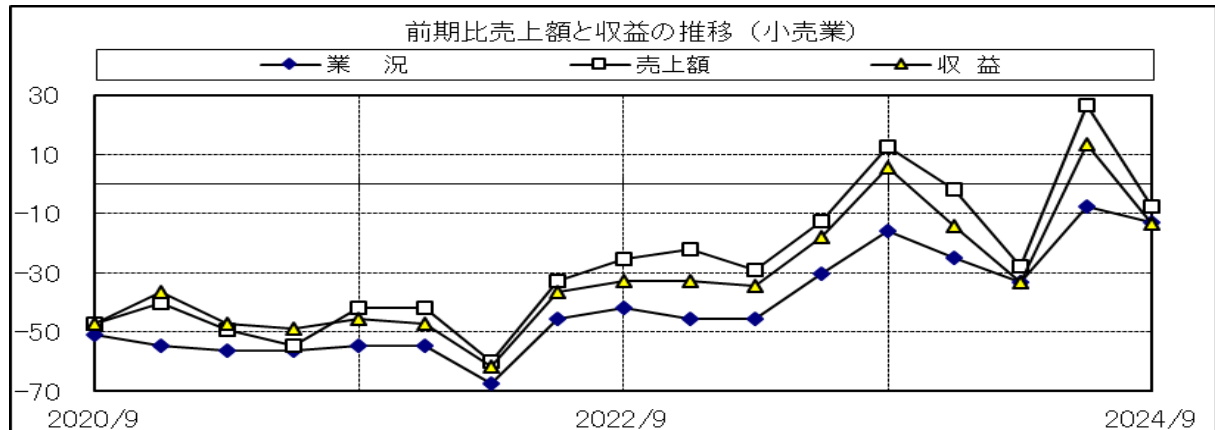


小 売 業 53 企 業（回答率 100%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	1～3 月 期 実 績	4～6 月 期 実 績	7～9 月期 実 績	10～12 月 期見通し
業 況	-33.3	-7.6	-13.1	-16.9
売上額	-27.7	26.4	-7.5	7.6
収 益	-33.3	13.2	-13.2	-1.9

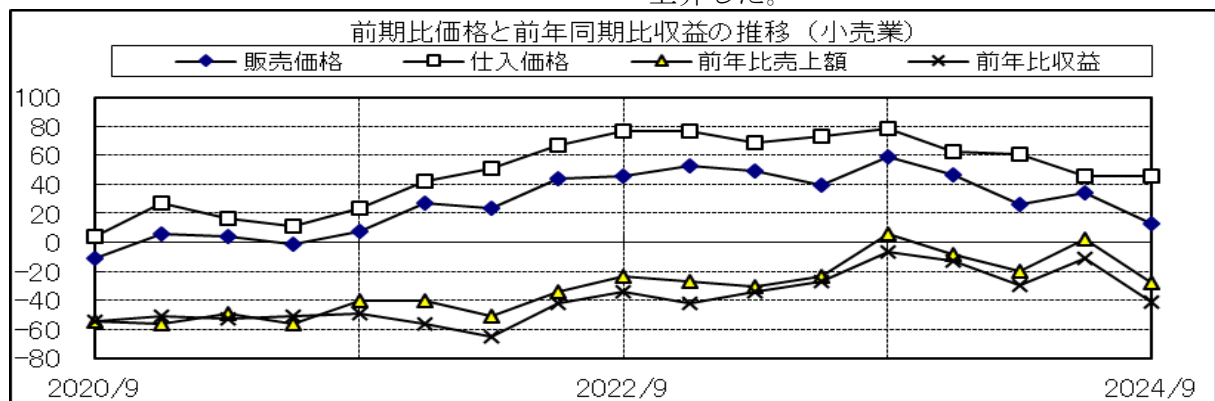
今期の業況判断 D. I. は△13.1 で、前期比 5.5 ポイント下降、前年(△16.0)比では 2.9 ポイント上昇した。地区別の D. I. は高い順に、浦河が最も高く、次に、三石、様似、静内、えりもと続き、広尾が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は△7.5 で、前期比 33.9 ポイント下降した。収益判断 D. I. は△13.2 で、前期比 26.4 ポイント下降した。



□ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	1～3 月 期 実 績	4～6 月 期 実 績	7～9 月 期 実 績	10～12 月 期見通し
販売価格	25.9	34.0	13.2	9.4
仕入価格	61.1	45.2	45.2	33.9

販売価格判断 D. I. は 13.2 で、前期比 20.8 ポイント下降、前年(58.9)比 45.7 ポイント下降した。仕入価格判断 D. I. は 45.2 で前期と同水準、前年(78.5)比 33.3 ポイント下降した。業種別では、衣料品は販売、仕入価格ともに上昇。食料品は販売、仕入価格ともに下降。家電品は販売価格は横這い、仕入価格は上昇した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	1～3 月 期 実 績	4～6 月 期 実 績	7～9 月 期 実 績	10～12 月 期見通し
残業時間	-1.8	0.0	3.8	3.8
人手状況	-13.0	-17.0	-15.1	-11.3

残業時間判断 D. I. は 3.8 で、前期比 3.8 ポイント上昇し、残業時間が増加したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は△15.1 で、前期比 1.9 ポイント上昇し、人手不足感は弱まった。

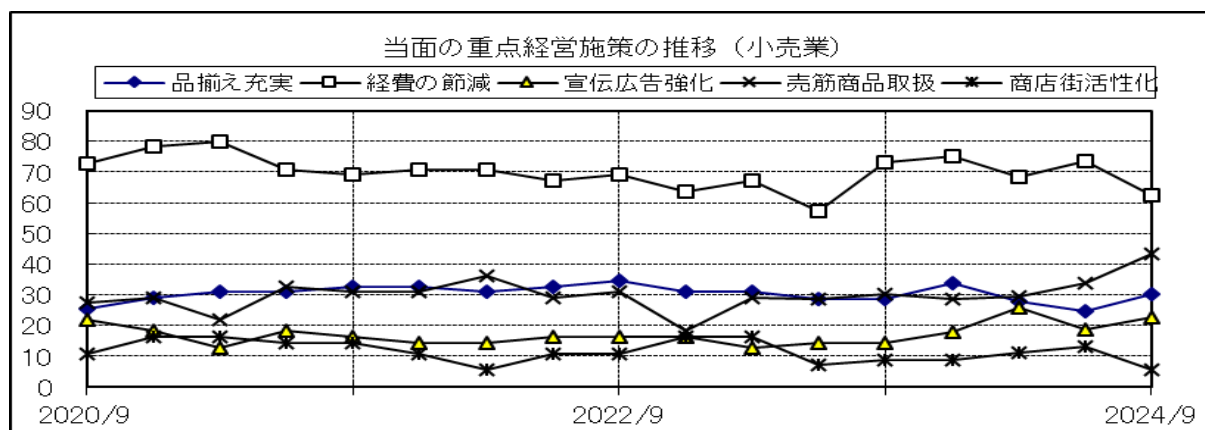
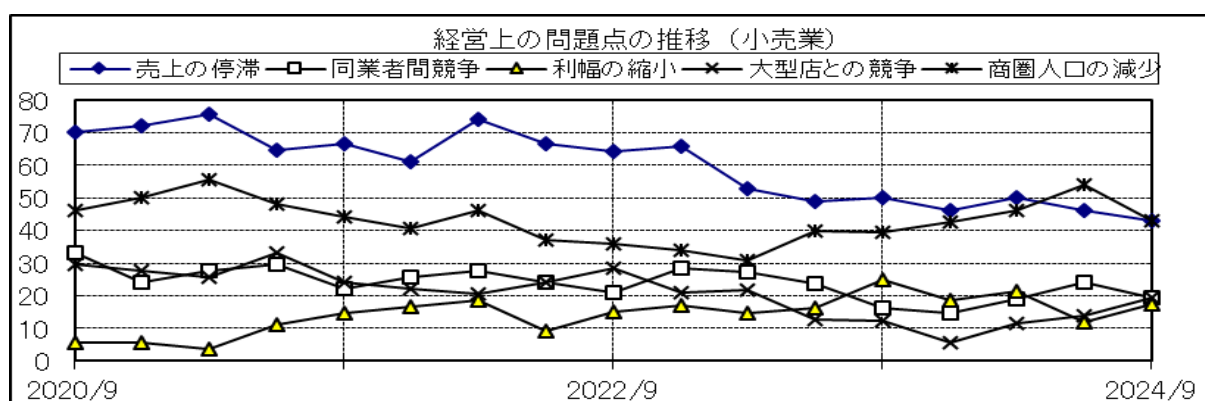
□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示すD.I.は△5.7で、前期(△11.3)比5.6ポイント上昇した。
設備実施企業割合は9.4で、前期(9.4)と同水準となった。備投資は、前期5社に
対し5社の実施となった。来期の設備投資は、4社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」・「商圈人口減少」が43.1%と最も多く、次に「同業者競合」・「大型店競合」・「商店街集客力低下」が19.6%、「利幅縮小」・「値上要請」が17.6%、「人件費増加」15.7%、「天候不順」9.8%、「人手不足」・「取引先減少」が7.8%、「販売商品不足」・「代金回収悪化」が5.9%、「地場産業衰退」3.9%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が62.3%と最も多く、次に「売れ筋商品取扱い」43.4%、「品揃え改善」30.2%、「宣伝広告強化」22.6%、「仕入先開拓選別」9.4%、「商店街活性化」・「人材確保」・「教育訓練強化」が5.7%、「店舗設備改装」・「営業時間延長」・「機械化推進」・「パート化」・「輸入品取扱増加」が3.8%となった。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は△16.9と、今期比3.8ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D.I.は7.6と、今期比15.1ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D.I.は△1.9と、今期比11.3ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断D.I.は9.4と、今期比3.8ポイントの下降を見通している。

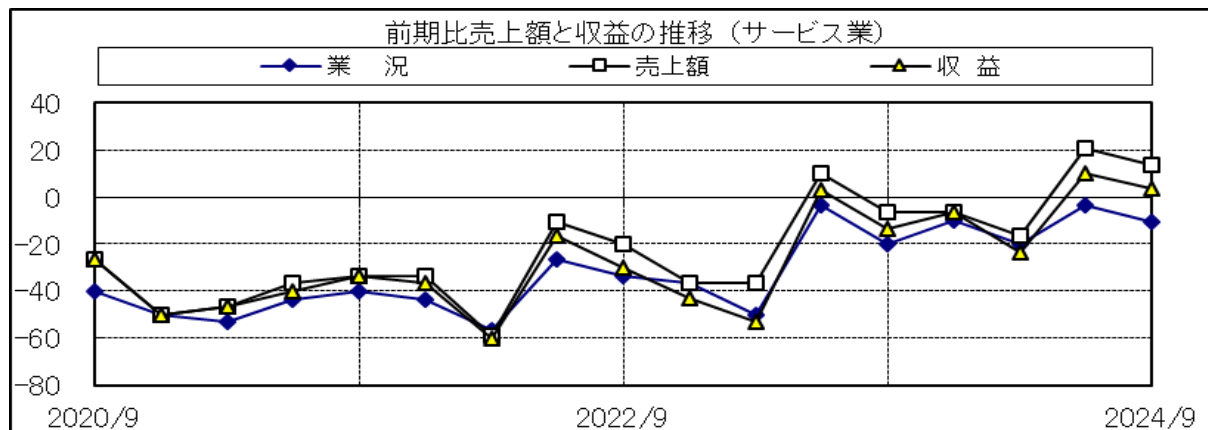
予想仕入価格判断D.I.は33.9と、今期比11.3ポイントの下降を見通している。

サービス業 29 企業（回答率 96.7%）の調査結果です

□ 概 況

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
業 況	-20.0	-3.5	-10.3	-17.9
売上額	-16.7	20.7	13.8	6.9
収 益	-23.3	10.3	3.5	10.4

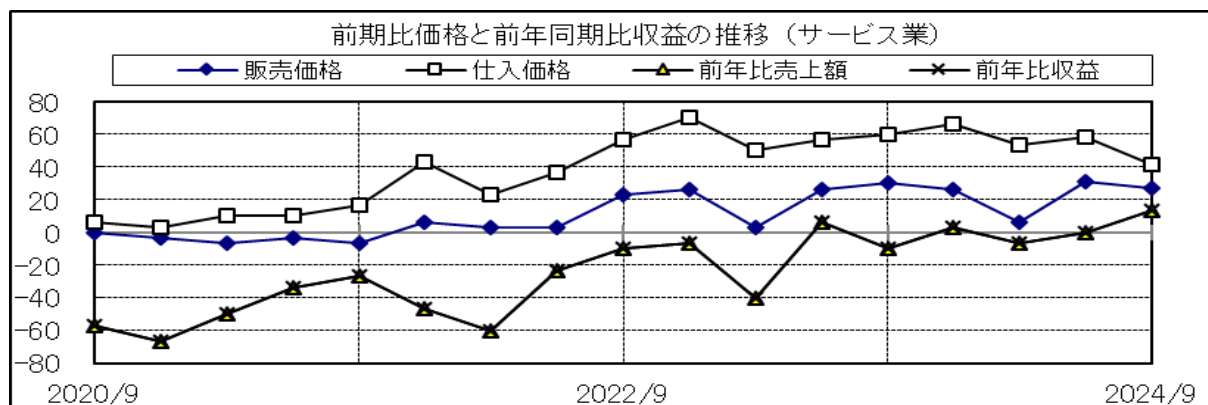
今期の業況判断 D.I. は△10.3 で、前期比 6.8 ポイント下降、前年(△20.0)比では 9.7 ポイント上昇した。地区別の D.I. は高い順に、三石が最も高く、次に、静内、浦河・えりも・広尾が同率で続き、様似が最も低い水準となった。売上額判断 D.I. は 13.8 で、前期比 6.9 ポイント下降した。収益判断 D.I. は 3.5 で、前期比 6.8 ポイント下降した。



□ 価格面の動きと前年同期に比した動き

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
料金価格	6.7	31.0	27.5	17.2
材料価格	53.3	58.6	41.3	27.5

料金価格判断 D.I. は 27.5 で、前期比 3.5 ポイント下降、前年(30.0)比 2.5 ポイント下降した。材料価格判断 D.I. は 41.3 で、前期比 17.3 ポイント下降、前年(60.0)比で 18.7 ポイント下降した。業種別の料金価格は、旅館業は横這い、洗濯理美容業は下降、自動車整備業は上昇した。材料価格は、旅館業、洗濯理美容業は下降、自動車整備業は横這い。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
残業時間	0.0	0.1	0.1	0.1
人手状況	-37.9	-41.4	-31.0	-31.0

残業時間判断 D.I. は 0.1 で、前期と同水準となり、残業時間の変動は無かった。人手過不足判断 D.I. は△31.0 で、前期比 10.4 ポイント上昇し、人手不足感は弱まった。

□ 設備投資の動き

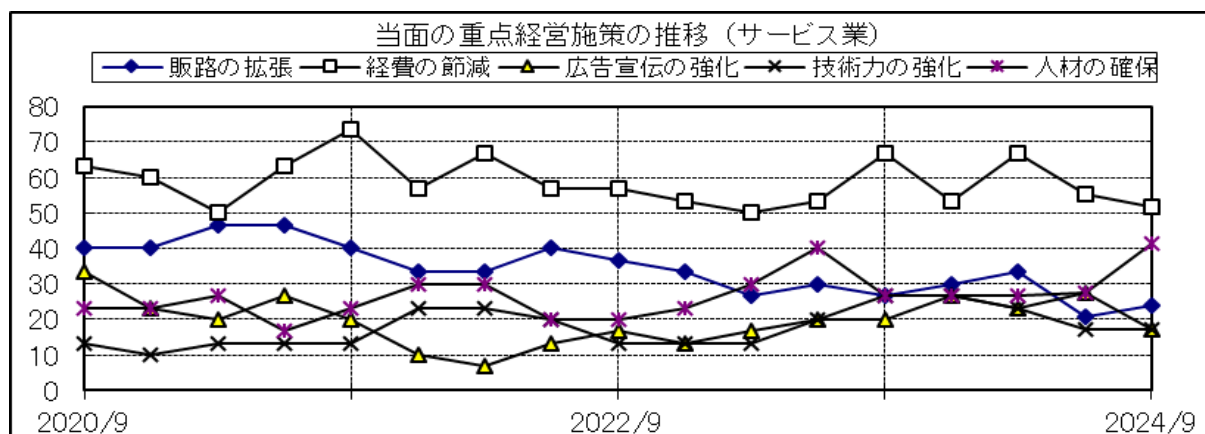
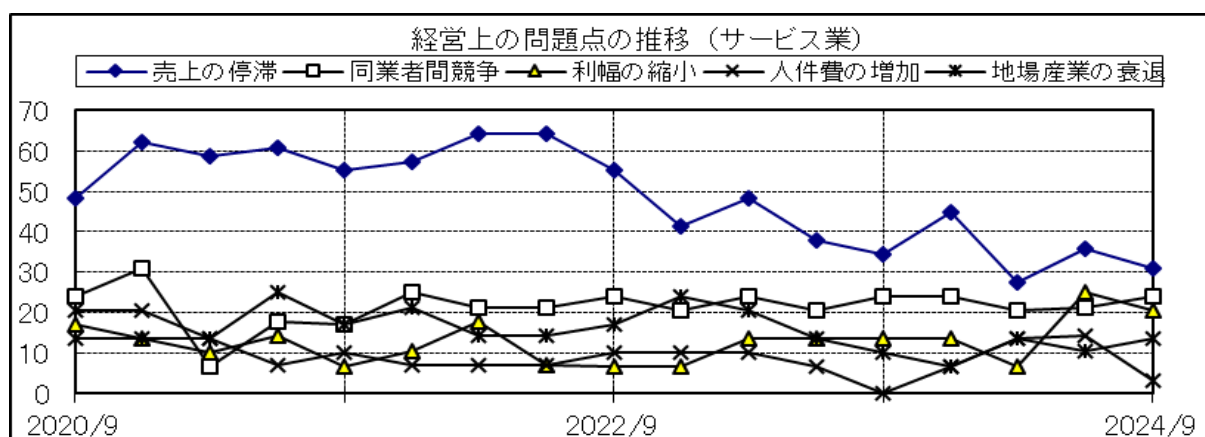
設備投資の充足感を示すD.I.は△10.3で、前期(△17.3)比7.0ポイント上昇した。

設備投資実施企業割合は10.3で、前期(13.8)比3.5ポイント下降した。設備投資は、前期4社に対し、3社の実施となった。来期の設備投資は、5社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「商圈人口減少」が41.4%と最も多く、次に「売上停滞減少」・「材料価格上昇」が31.0%、「人手不足」・「同業者競合」が24.1%、「利幅縮小」20.7%、「店舗設備の老朽化」・「地場産業衰退」が13.8%、「天候不順」10.3%、「諸経費増加」・「取引先減少」が6.9%、「大手企業競合」・「合理化不足」・「人件費増加」・「代金回収悪化」が3.4%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が51.7%と最も多く、次に「人材確保」41.4%、「販路拡大」24.1%、「宣伝広告強化」・「技術力強化」が17.2%、「店舗設備改善」・「提携先開拓」が10.3%、「機械化促進」6.9%、「教育訓練強化」・「労働条件改善」が3.4%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は△17.9と、今期比7.6ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D.I.は6.9と、今期比6.9ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D.I.は10.4と、今期比6.9ポイントの上昇を見通している。

予想料金価格判断D.I.は17.2と、今期比10.3ポイントの下降を見通している。

予想材料価格判断D.I.は27.5と、今期比13.8ポイントの下降を見通している。